

# 合格体験記 (AO方式入学者選抜)

第Ⅱ項 現代社会学部 社会システム 学科

出身高校名 青森県立弘前中央高校

(1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

私は観光について大学で学びたいと考えていたので「日本一の観光地である「京都」に魅力を感じました。また、同志社女子大学では、フィールドワークなどの現地で活動も多く、将来地元に戻って地域活性化に尽力したいと思っている私にとって良い環境だ」と考えました。また、大学側の生徒の活動のサポート・支援がとても魅力的で、青森から出ていく私にはほっとも心強かったと。

(2) AO方式入学者選抜を受けようと思った理由。

私は高校の部活動で「バスケ部部長として活動してきたので、そのことをアピールしたい」と考え、AO方式入学者選抜を受けました。同志社女子大学のAO入試では、高校の活動を幅広くアピールすることができ、自分に合った入試だと思いました。また青森から京都に行くということも早く合格して準備したいと考えAO方式入学者選抜にしました。

(3) AO方式入学者選抜においてアピールした活動、経歴、資格等。

高校で入っていた部活動の活動をアピールしました。国体やインターハイ出場の戦績もアピールしましたが、私は部長としての活動を一番にアピールしました。部員勧誘や練習メニューの改善をどのように工夫したのかをまとめ、今後どう生かしていきたいのかも考えました。また、部長を務める上での困難をどう乗り越えたのかもアピールしました。

(4) 出願書類作成や面接で心がけた点。

〔出願書類作成〕

自分が将来(卒業した後)何をしたいかを真剣に考え、それに基づいて書類を作成しました。私は地元の活性化に尽力したいと考えていて、同志社女子大学で学びたいことを細かく書きました。同志社女子大学の活動を調べ自分はどの活動で何を学びたいかや将来やりたいことを書くようにしました。レポートは総合学習で調べたことをさらに掘り下げ書きました。

〔面接〕

私は滑舌が悪いので「ハキハキ大きな声で話すこと、自分を紹介するような気持ちで話すことを心がけました。練習の時に答えを作っていていかにも準備してきたようになってしまうので、出願書類の内容をしっかりと頭に入れ、自分の良さを自然に話すことができるようにしました。試験の時には、自然にジェスチャーで話を伝えていたことで成功していたのではないかと感じています。

(5) 選抜を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

出願書類が「たくさん行き詰まること」が「たくさんある」と思いますが、AO入試で早く合格することができれば「入学式前には友達ができるし、大学生活の準備期間も一般入試の人より多くあります。また、大学生活を終えて何をしたいかまで考えることができれば」出願書類の作成や面接で「つまづくことが少なくなるかもしれません! 地方から受験しようと考えてる人も、同志社女子大学は受け入れてくれるので頑張ってください!!」